

町の財政事情

昭和33年度下半期

1、昭和33年度下半期、五〇四四千円の予算額は十月(三)(四回)十二月(五回)(三)(四回)の追加更正したため、一〇九八千円の減となり、一〇七、四〇六千円となりました。

この追加更正の主なものは、教育費中永原、錦江両小学校の工事費減五、八八〇千円土木費中災害復旧費の減一、〇七二千円等で、又反面増額の主なものは、失業対策事業費一、四六七千円遺族会に対する補助(遺族会は護国神社建築費に充てた)一、〇〇〇千円その他、増減差引一、〇八九千円の減額となつたものです。

2、歳入について

昭和三十三年度の歳入予算は、総額一〇七、四〇六千円で、その主な構成は附表一の通りで町税の三九、四六六千円、地方交付税一九、四一〇千円、

(別表一) 昭和33年度一般会計収支実績調(歳入) 34.3.31現在 単位円

科 目	① 9月 予 算	② 10月~3月 追加額	③ 予 算 現 額	④ 調 定 額	⑤ 収入 済 額	⑥ 収入未済額		10月~3月 迄 歳 入 額
						⑥ 一	⑥ ②	
町 税	40,316,000	△ 850,000	39,466,000	49,480,793	39,776,174	△ 310,174	19,417,741	
地方交付税	17,800,000	1,610,000	19,410,000	20,649,000	20,649,000	△ 1,239,000	5,536,000	
金庫支出金	21,579,240	△ 2,741,482	18,837,758	18,819,536	18,819,536	18,222	15,763,829	
県 支 出 金	808,250	181,890	990,140	829,361	829,361	160,779	807,856	
財 産 收 入	654,543	281,720	936,263	931,191	1,071,640	△ 135,377	748,090	
使用料及手数料	5,269,773	△ 525,590	4,744,143	4,855,929	4,711,841	32,302	2,558,115	
寄 附 金	624,000	754,615	1,378,615	1,128,615	1,128,615	250,000	832,115	
繰 越 金	6,230,308	8,481	6,238,789	6,240,308	6,240,308	△ 1,519	0	
雑 収 入	1,156,218	182,227	1,338,445	1,230,255	1,374,343	35,898	866,782	
地 方 債	12,800,000	△ 1,000,000	11,800,000	11,800,000	11,800,000	0	11,800,000	
繰 入 金	1,266,055	1,000,000	2,266,055	2,266,055	2,266,055	0	2,266,055	
歳 入 合 計	108,504,347	△ 1,098,139	107,406,208	118,231,043	108,666,873	△ 1,260,665	60,596,583	

(別表二) 昭和33年度一般会計収支実績調(歳出) 単位円

科 目	① 頭 書 予 算 額	② 10月~3月 追加額	③ 予 備 費 充 用 額	④ 予 算 現 額	⑤ 支出 済 額	⑥ 支出未済額		10月~3月 迄 支 出 額
						⑥ 一	⑥ ②	
議 会 費	2,526,877	△ 161,515		2,365,362	2,360,527	4,835	1,127,260	
役 場 費	16,302,955	805,547	32,000	17,140,502	17,038,707	101,795	9,410,835	
消 防 費	3,764,945	299,255	18,400	4,082,600	4,065,345	17,255	1,094,881	
土 木 費	8,176,748	△ 785,295	8,550	7,400,003	7,318,361	81,642	3,435,519	
教 育 費	29,818,508	△ 5,345,184	950	24,474,274	24,232,376	241,898	19,862,259	
社会及労働施設費	20,345,751	2,338,034		22,683,785	22,596,398	87,387	12,955,829	
保健衛生費	1,075,800			1,075,800	787,856	287,944	498,857	
産業経済費	3,937,620	653,290		4,590,910	4,401,075	189,835	2,723,533	
財 産 費	1,655,615	597,397		2,253,012	2,181,574	71,438	8,671,913	
統計調査費	26,040	9,845		35,885	35,770	115	26,900	
選 挙 費	577,596	45,480		623,076	611,127	11,949	392,551	
公 債 費	12,029,332		12,836	12,042,168	12,036,851	5,317	6,304,393	
諸 支 出 金	7,471,560	445,007		7,916,567	7,212,933	703,634	3,130,648	
予 備 費	795,000		△ 72,736	722,264	722,264	0	722,264	
計	108,504,347	△ 1,098,139	0	107,406,208	104,878,900	2,527,308	69,635,378	

(別表三) 町 税 収 入 状 況 調 単位円


科 目	A 予 算 現 額	B 調 定 額	C 収入 済 額	収 入 歩 合	
				(C/A)	(C/B)
町 民 税	8,236,000	9,256,247	8,667,231	105.2	93.6
固 定 資 産 税	20,123,000	22,942,211	19,274,405	95.8	84.0
軽 自 動 車 税	125,000	170,235	147,985	118.4	86.9
町 た ば こ 消 費 税	4,278,000	4,184,700	4,184,700	97.8	100
電 気 ガ ス 税	2,620,000	3,089,049	3,089,049	117.9	100
木 材 引 取 税	84,000	118,350	86,600	103.1	73.2
犬 税	55,000	73,200	62,400	113.5	85.2
都 市 計 画 税	1,550,000	1,680,159	1,406,033	90.7	83.7
計	37,071,000	41,514,151	36,918,403	99.6	88.9
滞 納 繰 越	2,395,000	7,966,642	2,857,771	119.3	35.9
合 計	39,466,000	49,480,793	39,776,174	100.8	80.4

歳出(附表二)

歳出の主なものは、公債費の六、九六三、千円、これは水道事業に充てられた起債の償還金であり、水道関係の起債の状況は、附表五のとおりで、三十三年度末で五、八五〇、千円の現償額となつております。

役場に住民課 設置検討

従来、戸籍、配給、民生等の事務内容は直接住民に直結しているもので、現在町民で、役場にきて右往左往せねばならぬ実情にかんがみ、住民課を新設し、互に統合して、サービス面の改善をなすよう町当局は目下検討を加えている。近く具体案を得て、議会にはかることとなる模様。



発行所 加治木町役場
発行人 曾木隆輝
編集者 中元邦夫
印刷所 吉屋印刷所

(二戸一枚配付)
加治木町の人口
-34年(8月1日現在)-
● 人口 20,328人
(この数字は常住人口調査によるものであります)
男 9,738人
女 10,590人
● 世帯数 4,826戸
● 7月中の出生死亡

	出生	死亡	自然増
男	12	5	7
女	12	9	3
計	24	14	10

33年10月~34年3月までの
歳入額...六〇、五九六、五八三円
歳出額...六九、六三五、三七八円

八〇〇千円、繰越金六、二九九千円その他使用料及手数料雑収入寄附金等よりなつております。この総額は、上半期に於ける一〇八、五〇四千円が前記したように、四回にわたる追加更正により、一、〇八九千円の減となり、最終予算として

3、歳出について

上半期一般会計の歳出額は、三五、二四四、千円、対し、収入実績は、本期に於ける収入総額六〇、五九六、千円の内町税一、一〇四、八七八千円の内、町税収入の約四〇%は、本期内各費目毎の支出額を占める尤も大きな財源である事は御承知の通りであります。次に国庫交付金一五、七六四、千円、地方交付税五、五三六、千円、繰入金二、二六六、千円、県支出金八〇八、千円、収入寄附金等になつて

町役場職員組合の各課めぐり

町役場の職員組合の役員は、この間から中食時間を利用して、各課毎に座談会を開いて、その事務内容や繁閑の度を調査し、どうして能率をあげるか、どうしたら町民によりよいサービスが出来るかを研究し始めた。

各課について町民側にもいろいろ言いや苦情があるが、各課としても亦無理からぬ点多々あることがわかり、町当局とも協議し、より少ない経費でより大きな効果を得るよう、サービス向上にのり出そうとしている。

町社会福祉協議会
町社会福祉協議会
左記の方
から香典返しとして、寄
附を頂きました。お芳情
厚くお礼申し上げます。
寄附者御芳名
河内 健(南沙入)
一、〇〇〇円
岩元房友(高井田)
三、〇〇〇円
松田義則(須崎)
一、五〇〇円
市来原盛五(吉原)
一、五〇〇円
堅山テイ(城)
一、〇〇〇円

県下公営住宅の 割当きまる

今年度の県下公営住宅の割当は、このほど発表されたが、それによると、三期計三年計の二年目と計画して、県営住宅六四戸を、六戸一戸を、二戸二種、三戸一種、計一七六戸を、市町村に配分する。市町村別割当は次のとおり、なお町には直ちにこれが建築にとりかかるとのことである。

昭和34年度 公営住宅建設計画(県)

市町村名	第一種	第二種	計
鹿兒島市	24	92	116
鹿屋市	25	34	56
阿久根市	15	23	38
出水市	10	20	30
名瀬市	30	—	30
垂水市	10	20	30
加治木町	6	24	30
内志町	5	20	25
志布志市	2	20	22
分野市	—	20	20
木野市	5	15	20
山口市	10	10	20
宿務市	—	20	20

以下省略

一本町を工場適地 調査地区に指定

このほど通産省から県内では、鹿屋市、加治木町、始良及び加治木、六市町を、工場適地調査対象地区に指定し、調査の上は通産省及び企業者に情報提供の助言をなし、企業の誘導に、のり出すこととなつた。県より通達があつたが、去る八月十九日県工場適地調査委員会から委員が来町され、町内を視察されたので、近く結論が出るものと思

立派な選手をつくることは大事なこと。落気の毒な人々がいまいます。すべての仕事をやるのが、最も必要なこと。社会福祉協議会とは

加治木町にたくさんの方がいます。加治木町内のこのように、社会福祉協議会です。お金の持たせることは必要。社会福祉協議会とは、最も必要なこと。社会福祉協議会とは、最も必要なこと。社会福祉協議会とは、最も必要なこと。

社会福祉協議会とは
加治木町社会福祉協議会
社会福祉協議会とは、最も必要なこと。社会福祉協議会とは、最も必要なこと。社会福祉協議会とは、最も必要なこと。

会員であるため、年々未だうけあい、共同募金運動、その他本会の会費募集等に、町民の皆様方のお協力をお願いいたします。
(加治木町社会福祉協議会)

私は役場に入つてもう十年余りになる。この数年間、税務課にまわされ、一番いやな徴収係をやつた。課税係と一緒に、収入、不動産の状況は調査して法や条例で示された計算をなし、一応台帳と切符を作り上げる、何日か昼夜を分たぬ事務に追われる。

随筆
税務徴収吏員の苦衷
税務課 Q P 生

税をとりに来ないで、納税を促して下さる。税をとりに来ないで、納税を促して下さる。税をとりに来ないで、納税を促して下さる。税をとりに来ないで、納税を促して下さる。

最後に行つた家で「もつて行こう」と思つて用意しておきました。取りかかると、妻は昔から収税官は世の中の人から鬼がたよりいわれて来た、共運命とはいわれない、やな仕事です。この位いざよと床の中から台所にいる私にうわごとをいふ。うわごとをいふ。うわごとをいふ。うわごとをいふ。

やつと切符を配布されたので徴収に出かける。朝或る商店へ行った。丁寧にあいさつをする。店の主人はよく返事もせず、「朝つばらから税をさす」とも出さないから夕方までと云はれる。

昨夜の税金を何とかして貰いたいが、或る家に訪ねた。同情すべき状況にある家庭と思つた。主人が床に臥してうなづいて、金ばかり切出す。こちらから切り出す。こちらから切り出す。こちらから切り出す。

役場に帰つたら課長は今週から課員は全力をあげて徴収にかかると、非常に六ヶし仕事だが、町は諸君の努力によつて、私もおぼろげな。役場に帰つたら課長は今週から課員は全力をあげて徴収にかかると、非常に六ヶし仕事だが、町は諸君の努力によつて、私もおぼろげな。



学級に耳をかたむける熱心なおばさん



子供の教育問題を中心に話しをきく部落の人たち

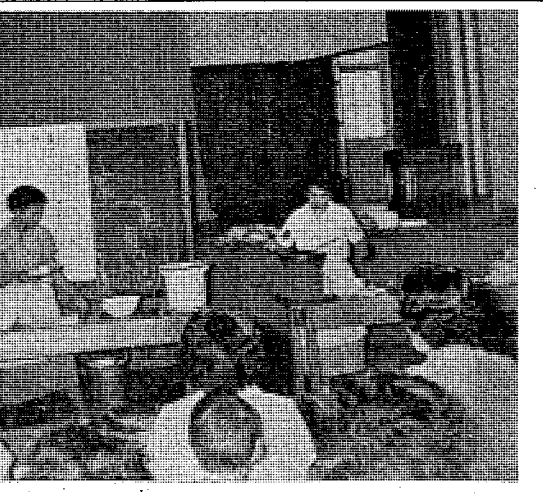
桃木野部落に おしどり学級生る 振興会と婦人会の話しあいで

町公民館では、本年度の一環として、成人学級級の開設。この日は半日の農休日。この日は半日の農休日。この日は半日の農休日。この日は半日の農休日。

**スキムミルクの料理
コンクール発表会**
各部門とも一位入賞者は来る十月十四日の県コンクールに出場する。入賞者は次のとおり。

A部門(粉食料理)
①野元道子(岩原東)
B部門(家庭一品料理)
①溝口幸(下新道)
②中間みね(市)
C部門(おやつ)
①松木富子(岩原西)
②田中明日子(今町)

**上木田父の会で
成人学級を開設**
上木田部落では、以前から父の会を作らうと話していたが、去る八月七日誕生を機に、この誕生を機会に、学校教育への理解を更に深めようといふ目的で、成人学級を開設する。この成人学級は、学校を同月八日開設し、小学校教員二十一名が部落公民館に集り、家庭教育の重要な座を占める自分



実演コンクール会場

電報電話局新築は来年度か
従来、加治木電報電話局の新築移転が叫ばれ、敷地だけは既に予定、予算の割当をまつている。加治木町がその線に入つたので、加治木町は来年度を目ざして折角関係方面と交渉中である。電話不足で町民の要望に副いれない実情がある。新築を見れば右も緩和されると電

普及所の提案

(その1)

県の農政施策として防
災農機体制の確立が取り
上げられてから四年を迎
えその一環である水稲早
期栽培の

防災営農を

一町ぐるみに推進しましょう

木田内場一、五ヘクタ
ール、石野二ヘクタール
伊ぶの一ヘクタール、西
別府一ヘクタールが主た
る集団地である。



「夏よ、〇〇」この
クイズめいた文句を、蚊
に喰はれながら、考えさ
せられたことがありまし
たが、兎角夏の、夜話し
は何時ではある、へんて
り知れない程、へんてれ
きわまりなく、続けられ
ますことは、常識であり
ます。

「夏よ、〇〇」この
クイズめいた文句を、蚊
に喰はれながら、考えさ
せられたことがありまし
たが、兎角夏の、夜話し
は何時ではある、へんて
り知れない程、へんてれ
きわまりなく、続けられ
ますことは、常識であり
ます。

は経営改善の一策として
魅力ある話題とも言えよ
う。
然し、現実的にはこれ
が推進に当っては技連が
中心となつていたきらい
がないでもない。
ここらあたりで町民こ
そつて町ぐるみの推進を
図ることが肝要なこと
と思ふ。毎年の如く八
月下旬から九月にかけて
台風の災害を被つておる
のでありますから、台風
を除けた稲作、そして経
営の安定の方向に進むべ
きであると思ふ、町当局
に一人依存することなく
町民こそつて防災営農の



人とつき合う法。ロリ
ータ。日南切支丹史。日
本唱歌集。告白の女性論
日本近代史辞典。明日は

政のやりくりは、いけん
なつちよとな、やゝこ
しもんごあんそう...」至
極平凡な質問のようであ
りますが、虚をついた而
も皆んなが、知つてお
ねばならない問題で、又
町当局としては、機会あ
る毎に知らしめなければ
ならない事柄のようでも
あります。

確立のため一歩前進すべ
きであります。
米がまづいとか、反収
が少いとか、経費がかか
り過ぎるとか、面倒であ
る等々の農民の前の溝は
巾広きにあらず、又深く
にあらずです、勇気を出
して手を取り合つてどん
で見ることであると信じ
ます。
研究と努力を積み重ね
るならば、その溝は思つ
たよりたやすくとべるも
のであることを信じて止
みません。
(加治木地区農業改良
普及所
所長 松岡登記夫)

そこにある。家庭の事典
家庭のメソッド。女患
不道徳教育講座。ドクト
ルジバコ。人間の壁。女
子社員。執務心得。革命
の質問。青年団運動五〇
の質問。青年の話し方
門。市町村政必携。農事
研究と青年運動。これか
らのトマトづくり。蔬菜

それを基にして生活を立
てていくので、毎
月の生活のために必要欠
米塩の資から新炭代、電
料、新聞、ラジオ、P
T A 会費等...に至るま
で、すべて給料の額の中
で、支出しなければなら
ません。
もしも、その給料の枠
の中で、このような支出
が賄えなくなると、先づ
新聞を断り、ラジオを聞
くことをやめ、それでも
追いつかなければ、つぎ
はぎの洋服で我慢し、更
には食べ物まで節約して
生活を切り下げなければ
ならぬこと、(この場合
合夫婦げんかは絶対禁物
です)が、そのような最
悪の事態にならないよう
に、最少限の生活だけ
は確保し、子供の教育も
近所の交際も、新聞、ラ
ジオ位の文化費は捻出す
るように、生活の各部門
にわたつて調整をはかり
ながらも決つておられる給

日本へ来たアメリカ
人は「日本という国は、
源に恵まれた環境に育つ
と、「必要なのは、ど
しどし生産すればいい
こと」がわかつては、流
れは、つくりださず、
木と紙で家を建て、流
れは、つくりださず、
価値のあるものは、物
をつけている。すぐ穴
だらけになるような道路
の効果をみる。という考
え方になつてくる。
「世の中に無駄とい
うものはない」とい
う土地が狭く、天災が多
く、人口過剰な恵まれ
た人間の営みはすべて、
環境に育つと「物質と
無駄ばかりで出来てい
る」

あるを予期して、一年に
二、三度支給されるポ
ナス等の中から天引し
蓄えをしておくわけだ
心掛のよい人は、更に月
々の給料からも、その蓄
えを加えてゆくでしょう。
このように月給とりの
生活を毎月きまつた収入
で毎月必要な支出を
賄い、臨時の収入と
月給を割いて貯蓄した準
備金で賄われているので
ある。若し月給とりの
洋服や靴を月賦で買った
とすると、新調した翌月
引かれますから翌月以後
の生活を、きつめて、
その代金を払うことにな
り生活を圧迫し、弾力性
を失わせます。而してこ
れを已むを得ない場合が
ありますが、米代や薪炭代
を借金で支払わねばなら
ないとする、その生活
は、月給で生活に必要な
最低の支出でできないの
ですから破綻をきたすも
とになります。

「夜はな」
八月十一日の平和祭に

教育長 市来 朴
「世の中に無駄とい
うものはない」とい
う土地が狭く、天災が多
く、人口過剰な恵まれ
た人間の営みはすべて、
環境に育つと「物質と
無駄ばかりで出来てい
る」

本年は、才一回加治木町
対給良町親善剣道大会
を警察署道場に開き双
方十一名の精鋭で対し
たが、実力伯中の火花を
散らし、結局3/3で、
初の対戦は仲良く引分け
となつた。

八月十一日、平和祭の
主要行事である町内少年
野球大会は、八チームが
参加して、加高グラウンド
に熱戦を展開したが、決
勝戦で本町4/3竜門と
最後まで接戦を多数の観
衆の前に繰りひろげ、本
町チームの優勝、準優勝
竜門。

に聞えるけれども、実際
は気の毒な失業業者だ。こ
ういう人に対して一円でも
クズを高く売りつけよう
とする。一升瓶の空瓶
だつて一円でも高く買
人をさがす。中には古新
聞に巻を吹きかけて目方
をふやして売ることがあ
る。昔段着にでも、銘
仙以下は着たことがない
という奥さんで、どうい
う事をやる人があるが、
無駄とか節約とか、りん
しよくという区分は相当
にむずかしい。
※何事も控え目に
今日も明日に延ばし
少しでも無駄が無いよう
に生活することも、極め
て大切なことであるが、
一面又これが却つて、無
駄なことであつたり、今
は実に無駄なこと、今
であるが現実だけに捉わ
れず将来から見た時に
これは決して無駄なこと
でない場合が極めて多い
。我々の施す子弟教育も
百年の大計であつて、毫
も無駄とは言えない。一
銭を笑う者は百銭に泣く
も戒めであるが、百銭を
笑つて千円を築く気概
もあつて欲しい。
(転載)

9月中旬の
▲市来原青年学級
5日農業、8日教養
9日生花と農業
12日農業と料理
19日
21日教養、23日生花と
農業、26日農業と料理
▲新西女子青年学級
7日家庭、26日家庭
▲園女子青年学級
9日生花、19日生花
28日料理
▲新西、楠園男子学級
15日職業
▲永原校区女子学級
9日生花、22日料理
▲限原、葛浦谷、西浦
小山田)計画中。

町青年団登山同好会
本年度才二回町内社会
人野球大会は、炎天下の
八月二十二、三の両日、湯
加中グラウンドで行われ
決勝戦に銀平組が九州電
を打つた。